

IDHS（イリノイ州福祉局）による無料のテキストメッセージによるメンタル支援ライン「Call4Calm」

新型コロナウイルス感染症が人々のメンタルヘル스에 多大な影響を及ぼしていることを、IDHS は認識し、理解しています。そこで、IDHS のメンタルヘルス課（DMH）は、精神面のサポートを提供する無料テキストライン「Call4Calm」を立ち上げました。これは、イリノイ州でコロナ禍におけるストレスを経験している人々の支援を目的としています。

メンタルヘルスの専門家との会話を希望される方は、「TALK」を 5-5-2-0-2-0 に、スペイン語の場合は「HABLAR」を同じ番号にテキストで送信してください。5-5-2-0-2-0「Call4Calm」は無料で使用でき、個人の匿名性も保たれます。

ホットラインにテキストを送信すると、24 時間以内に地域のコミュニティメンタルヘルスセンターに雇用されているカウンセラーから電話で連絡が入り、サポートを受けることができます。また、「5-5-2-0-2-0」に「失業」、「食料」、「シェルター」などのキーワードを入力して送信すると、サポートやサービスを利用するための情報を受け取ることができます。

デイケアセンター（保育所）のスタッフに新型コロナウイルスのワクチン接種または検査の実施を義務付ける新しい州知事命令が発令

J.B.プリツカー州知事は、イリノイ州のすべてのデイケアセンター勤務スタッフに対し、1 月初旬まで新型コロナウイルスのワクチンを接種をするか、新型コロナウイルスの検査を毎週受けることを義務づける新しい州知事命令を発令しました。この新しい規制は、州全体に所在する、認可を受けたデイケアセンターのスタッフおよそ 55,000 人以上に適用されます。

デイケアのスタッフは、12月3日までにファイザーまたはモデルナワクチンの初回接種を受けるか、またはジョンソン&ジョンソンワクチンの単回接種を受ける必要があります。前者の場合は、初回接種後にファイザーまたはモデルナワクチンの2回目の接種を2022年1月3日までに受けることが義務付けられます。12月3日までにワクチン接種を完了していないデイケアスタッフは、ワクチン接種が完了するまで毎週、新型コロナウイルスの検査を受ける必要があります。

危機に面する公衆衛生を懸念し、銃による暴力への対処に向けた多額の投資を IDHS が行う

J.B.プリツカー州知事は、銃による暴力により公衆衛生が危機に面していると提言し、今後3年間にわたり2億5千万ドルの州による投資をもとに「公衆衛生を再考する（Reimagine Public Safety）」計画を実施することを宣言しました。この計画は、データドリブンで地域社会に根付いた、暴力行為の抑止のための施策です。これらの投資は、暴力行為の抑止、ダイバージョン、青少年雇用プログラムをサポートする目的で、イリノイ州福祉局（IDHS）を介して行われます。

「公衆衛生を再考する（Reimagine Public Safety）」計画（略名：RPSA）により、IDHS 内に「銃器による暴力抑止課（略名：OFVP）」が立ち上げられました。この課は、銃による暴力行為の発生率が最も高い地域社会における銃器による暴力行為の削減にフォーカスします。OFVP は、暴力行為の発生率が最も高いシカゴの近隣地域の暴力抑止委員会を特定し、協同する役割を担います。シカゴ以外の地域では、OFVP により、銃器による怪我や死亡率を下げするために設計された地域社会の諮問グループが形成されます。

今後数週間以内に、OFVP は、暴力行為の抑止と青少年のためのサポート・介入に向けた技術サポートにフォーカスした助成金のための競争

力のある投資の機会についての告知を行います。イリノイ州の FY22 の残りの機会のために、5000 万ドルの投資が行われました。さらに、続く 2 年の会計年度の各年を対象に、1 億ドルの投資がリクエストされる予定です。

IDHS は、州全体の地域社自治組織のための技術サポートやトレーニングの機会の提供を開始し、銃による暴力につながる要因への対処に役立つための資金調達を呼びかけています。

利用可能な技術サポートや今後の助成金申請の機会に関する情報については、IDHS のウェブサイト (<https://www.dhs.state.il.us/page.aspx>) へアクセスしてください。

助成金の機会

IDHS では、年間を通じて多くの資金調達機会のお知らせ (NOFO) を発行しています。資金調達の機会については、[IDHS の助成金の機会のページ](#)に一覧が掲載されています。

緊急時における賃貸費用および光熱費の支援

IDHS の「住宅支援プログラム」は、新型コロナウイルスによる影響を受けたイリノイ州居住の適格な世帯を対象とした、家賃および光熱費の支援プログラムです。IDHS は、地域社会や自治組織と連携して本プログラムを運営しています。

当局の提携組織が、申し込みの受付を行っています。ご関心のある方は、<https://www.illinoisrentalassistance.org/providers> で提供される情報を利用し、該当組織までお問い合わせください。

本プログラムの詳細については、www.illinoisrentalassistance.org からご覧いただけます。

6 社の小売業者が SNAP のオンライン食料品プログラムに新たに参加

イリノイ州においてオンラインの SNAP 購入サービスを提供する小売業者が新たに 6 社加わったことを、IDHS よりここにご報告いたします。新たに承認された小売業者は、Capri IGA、County Market、FairPlay Neighborhood Market、Schnucks、Supermercados El Guero、Woodman's Market の 6 社です。上記の新規小売業者は、イリノイ州全体にわたり合計 83 の店舗を運営しています。

これにより、イリノイ州の住民の方々は、SNAP 受給世帯向けのオンラインの選択肢を合計で 9 つ利用いただけるようになりました。ALDI、Amazon、および Walmart もイリノイ州でオンライン注文を受け付けています。

SNAP をオンラインで利用するには、www.capriiga.com、mycountymarket.com/shop/online-grocery-shopping/、fairplayfoods.com、shop.supermercadoselguero.com/、shopwoodmans.com、shop.aldi.us、Amazon.com/SNAP、または Grocery.Walmart.com のいずれかを選択し、画面の指示に従ってください。

イリノイ州の Link カードをお持ちの SNAP 受給者全員が、このサービスを利用できます。SNAP への登録や詳細情報については、dhs.state.il.us をご覧下さい。

このプログラムに興味をお持ちの小売業者様は、<http://www.fns.usda.gov/snap/online-purchasing-pilot> で詳細を確認し、申請を行うことができます。